

ウェザーニュースの天候情報を用いた「来店客予測データ」を導入 発注業務やシフト管理に活用し、店舗業務を効率化

株式会社マルエツ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:本間正治)は、デジタルを活用した店舗業務の簡素化と効率化を図るため、株式会社ウェザーニュース(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:草開千仁)が提供する、天候情報を用いた「来店客予測データ」を全305店舗に導入いたしました。

当社では、これまでもデジタル化を積極的に推進し、多様化するお客さまのニーズにお応えするサービスをはじめ、従業員が働きやすい環境整備に取り組んでいます。

従来、当社の来店客予測は、店舗の管理職が前年の実績や経験則に基づき予測した2週間から2ヵ月先の来店客数を、発注システムとレジのシフト管理システムにそれぞれ入力していましたが、店舗ごとにバラツキが生じることや予測そのものに時間を要することが課題となっていました。さらに、来店客予測は、天候の影響を大きく受けるため、売れ残りによる食品ロスや、品切れによる機会ロスが発生するほか、シフトや人員配置の調整に不備が生じることも問題でした。

これらの課題を解決するため、当社ではウェザーニュースが開発した1kmメッシュの天気予報とAIアルゴリズムを用いた高精度な「AI来店客予測モデル」による「来店客予測データ」を2022年9月から全店舗へ先行導入し、段階的に発注システムやレジのシフト管理システムへ連携してまいりました。これにより、予測客数が自動算出・入力されることで店舗での客数予測や入力作業が原則無くなり、自動発注数の精度向上やレジシフトの最適化など、店舗業務の効率化を図ることができました。具体的には、全305店舗の7月度客数修正率は0.5%(地域イベント等による客数修正対応)で、月間の客数予測の精度は95%以上の高精度を維持しています。また、店舗による客数予測および客数入力の年間MH効果は、およそ1,100MHとなっています。



来店客予測データの自動算出客数が5,000人の場合における各システムへの連携イメージ

客数 5,000

【事例:発注システムへの連携】

No	商品コード 商品名	仕入先	納品 天候 気温	19 木 晴→曇 14/24
			客数	5,000
0404	牛乳 1000ml		勧告数	35

【事例:レジのシフト管理システムへの連携】

食品有人レジ客数 (人) 5,000

今後は、この「来店客予測データ」をさらに他のシステムとも連携させ、店舗オペレーションのさらなる効率化や、より効果的なデジタル変革として販促施策の取り組みにもつなげていく予定です。

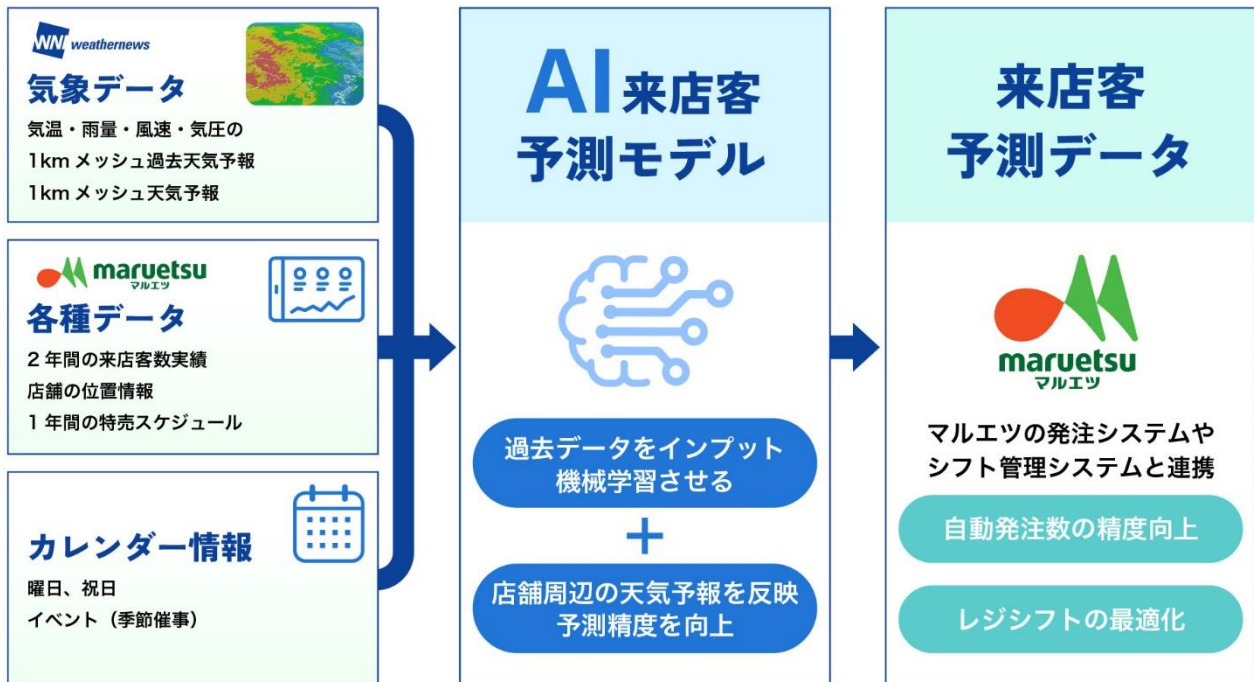
ウェザーニュースのAI来店客予測モデルを使用した「来店客予測データ」について

ウェザーニュースの本サービスは、

- ①1km メッシュの“過去天気予報データ”
- ②店舗住所や緯度経度、過去の来店客数や店舗で定期的に行われる特売日などの“ビジネスデータ”
- ③曜日や季節・歳時等のイベントといった“カレンダー情報”

の3種類の「過去データ」をAIで学習させて来店客予測モデルを構築、「経度・緯度情報を基に店舗直上の1km メッシュ天気予報」を日々反映することで、高精度な客数を予測します。

◇予測モデルにさまざまなデータを機械学習させることで、客数を自動算出する仕組み(イメージ)



■お問い合わせ先 経営管理部(広報) 都築・古澤 (電話 03-3590-0016)

以上